

平成22年度 玄海町立有浦中学校 学校評価計画

1 学校教育目標
豊かな心・活きた学力・たくましい身体をもつ生徒の育成



2 学校経営ビジョン
<p>(めざす学校像) ・信頼関係を基盤とした、温かな人間関係のある学校 ・基礎基本を身につけさせ、学力向上をめざす学校          ・楽しい中にも厳しさのある活気に満ちた学校 ・保護者や地域から信頼される学校</p> <p>(めざす生徒像) ・自己実現をめざして、主体的に行動する生徒 ・基礎基本を身につけ、意欲的に学ぶ生徒          ・自他の尊厳を認め、思いやり、やさしさを持つ生徒 ・規範意識を持ち自律できる生徒</p> <p>(めざす教師像) ・教師としての使命感にあふれ、優れた指導力と実践力をもつ教師          ・教育愛に満ち、生徒とともに行動する人間性豊かな教師          ・豊かな見識、専門的な知識を持ち、研鑽に励む教師</p>



3 本年度の重点目標	4 前年度の成果と課題
<p>1. 豊かな心の育成          (温かな心をもち、あいさつができる)</p> <p>2. 学力の向上          (授業に真摯に取り組み、家庭学習の習慣を身につける)</p> <p>3. たくましい身体づくり          (基本的な生活習慣を身につけ、部活動に熱心に取り組む)</p>	<p>・学習・生徒指導で様々な工夫や取り組みを通し、生徒の学校生活の多くの部分で向上傾向にある。</p> <p>・学習面では授業へのまじめな取り組みは見られるが、学習意欲の高揚や家庭学習時間確保など、更なる取り組みが必要である。</p> <p>・保護者及び地域住民の学校行事への参加は多くなっているが、月ごとの授業参観などは工夫の必要がある。</p> <p>・不登校傾向の生徒への対応について、大きな前進が見られたが、指導力の向上、校内の支援体制の構築が必要である。</p>



5 総括表				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	学校経営方針	教育目標の周知	・教職員、生徒、保護者への周知を図り、周知率90%以上にする。	・保護者会や全校朝会、学校だよりなどで機会あることに知らせ、周知徹底を図る。 ・各教室や廊下などに掲示をする。
	教職員の資質向上	指導力を向上させる研修の充実	・校内研究会において、全員の公開授業を実施する。 ・教育センター、教科等研修会、研究発表会へ2回以上参加する。	・校内研究の取り組みを工夫し、全員年1回以上の授業研究会を行う。 ・センター研、教科等研究会への参加を促す。
	開かれた学校づくり	学校だより、ホームページでの情報発信 保護者・地域の方の参加促進	・月2回学校便りを発行し、また、ホームページの更新を毎月行う。 ・参観授業及び体育大会、文化発表会等の学校行事への参加を500名以上	・学校だよりの月2回以上発行する。 ・保護者参加の行事を組み入れる。
	危機管理	生徒の安全を守る取り組み 危機管理体制の整備	・危機管理マニュアルをもとに、教職員の危機意識を高める。 ・訓練を通し、生徒の危機回避意識を高める。	・避難訓練、交通安全、薬物乱用防止などの訓練、講話を年に3回以上実施する。
教育活動	学力向上	個に応じた指導、わかる授業に向けた指導方法の改善による学力向上	・全国や県の学力・学習状況調査において、平均値に近づける。 ・アンケートにおける「授業がわかる」の回答を80%以上とする。	・個別指導の徹底を図り、学習意欲の高揚のため個に応じた課題の与え方を工夫する。 ・家庭学習の定着のため、ニューフレんズの活用を図る。 ・ウイーエンドテストを通し、基礎基本の定着を図る。
	心の教育	道徳の時間の充実 ボランティア活動の充実	・年に1回以上、道徳の授業を保護者、地域に公開する。 ・生徒会のボランティア活動の充実を図る。	・心の教育に関する取り組みを学校だよりなどで伝え、保護者への啓発に努める。 ・学級経営、生徒会活動を通し、思いやりの心、奉仕の心を育む。
	健康・体づくり	食育の推進及び部活動の奨励	・朝食摂取を95%とする。 ・部活動の出席率を90%以上とする。	・保護者と連携し、「早寝、早起き、朝ご飯」を推進し、学期ごとにアンケートを実施する。 ・朝食の大切さ、部活動の意義について、機会あることに指導をする。
	生徒指導	生徒指導の充実	・基本的な生活習慣の確立を図り、遅刻・問題行動0をめざす。 ・生徒指導についての共通理解、共通実践を図る。	・ノーチャイムでの生活を徹底し、時間を守ることを徹底させる。 ・毎月の生徒指導協議会で情報交換を密にし、組織での対応を図る。
		教育相談の充実	・個々の生徒の理解に努め、個に応じた指導を図る。	・担任、副担任、SCによる定期教育相談を年2回以上実施し、対話を重視した指導を心がける。 ・不登校傾向生徒への対応として教育支援センターと連携して、組織的な対応を図る。
	読書指導	読書指導の充実	・朝読書を充実させ、落ち着いた生活と読書力の向上を図る。 ・年間30冊(月3冊)を目標に読書に取り組みさせる。(国民読書年の取り組み)	・朝読書の時間を設定し、全生徒、全職員読書の時間とする。 ・育友会と連携し、読書の意義を保護者にも伝え、家庭での読書を推進する。
特別支援教育	中1TT国語・英語・数学の学習改善	TT・少人数指導の充実	・「授業がわかる。」と回答する生徒を80%以上にする。 ・国語・数学・英語においては、学習状況調査において、前年を上回る。	・少人数、TTにおける個別指導についての改善を図る。(教師間の打ち合わせ、生徒の声を活かす。)
	特別支援教育	生徒一人ひとりのニーズに応じた支援	・校内委員会を設置し、コーディネーターを中心に支援を必要とする生徒について、支援計画・指導計画を作成し、全員で指導に取り組む。	・外部講師を招聘し、研修会を実施し、共通理解・共通実践へと結びつける。 ・個々の支援計画に基づき、一人ひとりに応じた支援を行う。

は共通評価項目、は独自評価項目